

圓滿寺だより

第93号

2023年8月

お念仏とともに

暑中お見舞い申し上げます



圓滿寺

住職

棘

惠淨

副住職

棘

惠真



法座の御案内



●盂蘭盆読経法要の御案内●

8月14日(月) 午前11時半 午後1時半 午後2時半



8月15日(火) 午後1時半 午後2時半 (3時より納骨堂読経)

以上5回の読経法要のうちご都合のよい日時に参詣してください。なお、参詣の皆様合同の読経となりますこと御了承くださいませ。また、納骨堂の読経に参詣の方は15日午後2時半にご参詣いただき、引き続いて納骨堂での読経となります。

●秋季彼岸会永代経法要の御案内●

日時 9月20日(水)午後1時半

講師 本願寺布教使 源 裕樹 先生

講題 亡き人からの贈り物



秋のお彼岸の法座です。永代経法

要も併せて勤修します。まだ残暑厳

しいかもしれませんがどうぞお詣りくだ

さいませ。

【圓滿寺 〒553-0004 大阪市福島区玉川4-4-25 TEL 06-6441-2791】

圓滿寺院主(住職)携帯番号 090-5150-0946

HP(ホームページ)URL <https://fukusima-enmanji.org>

★ 住職の一言 ～亡き人を思う～ ★

お盆が近づいてきました。今年初盆をお迎えになる御門徒様もいらっしゃいます。初盆の参詣は毎年7月下旬から8月下旬にかけてお伺いしています。



お盆は8月13から15迄なのでその期間内での参詣と考えておられる御門徒もいらっしゃいます。浄土真宗では、お盆だけ亡き人が帰って来るのではありません。いつでも亡き人は私を案じて寄り添ってくださっているのです。亡き人は仏の世界におられます。しかし、結構忙しいのですよ。なぜなら、この世に残された子孫をいつでも案じておられ、いつでもどこでも見守り、寄り添っておられるからです。宗祖親鸞聖人はこれを還相回向へんそうえこうと言っておられます。



それ故亡き人の供養をするのではなく感謝申し上げるのです。いつも私のことを案じてくれて有り難う。見守ってくれておおきに。この気持ちを表現するのが浄土真宗のお盆なのです。平素は忙しさにかまけて亡き人へ感謝することさえ忘れているでしょう。せめてお盆の時だけでもお寺に参詣して一緒に読経しつつ亡き人へ感謝のお念仏を申してください。



「恋しくば 南無阿弥陀仏を とな 称うべし 我は六字の 中に住むなり」

亡き人を想っているならば、お念仏(南無阿弥陀仏ー六字)を称えてほしい。私はお念仏とともにあなたに寄り添っているよという歌ですね。寂しい時、悲しい時お念仏申してください。あなたが寂しい時悲しい時に亡き人必ずあなたに寄り添っておられるのです。平素からお念仏申して感謝を伝えてくださいます。お盆だけでなく、日々合掌礼拝らいはいしてお念仏申すことが浄土真宗の最も大切な心構えなのです。



「亡き人を案ずる私が亡き人から案ぜられている」

合掌



●えんまん研修旅行の報告●



～真宗高田派本山 高田山 ^{せんじゅじ}専修寺～

6月12日(月)午前8時、総勢25名を乗せた大型観光バスが雨模様のなか出発。一路専修寺(三重県津市一身田)を目指して名神そして新名神をひた走ります。10時頃専修寺に到着。境内に入らず如来堂前で記念撮影。その後堂内にはいり、読経(讚仏偈)。高田派本山専修寺専従の職員の方が如来堂や御影堂について、さらに本願寺派との荘厳や作法の違いについて詳しく説明いただきました。

なにより如来堂と御影堂の素晴らしい建造物に驚嘆。江戸時代に建立され国宝に指定されていますが、欄間の彫り物をはじめ柱や天井の構造、造作に改めて驚きました。心残りは宝物館が月曜日休館に変更になり、親鸞聖人の直筆が拝見出来なかったこと、雨のため庭園散策が中止になったことでした。しかしその分、細かに説明して下さいました。境内に目をやると、蓮の花々が咲き始めていました。満開になればさぞ極楽浄土の情景が浮かび上がることでしょう。



昼食は松阪市内の料亭「武蔵野」で松花堂弁当を賞味。アルコールも入り和気藹々の昼食となりました。帰路「関ドライブイン」にて土産物をどっさり買い込み帰阪。三重県からの2千円の旅行補助のおかげで皆さんえびす顔でした。

3年ぶりに企画した研修旅行でしたが、参加の皆さんは大満足の旅行だったようです。初めて参加された方は来年も是非とも参加したいとおっしゃっています。どなたでも参加出来ます。圓満寺の御門徒以外のかたでもかまいません。お誘い合わせの上ご参加ください。来年も皆様に喜んでいただく企画を考えたいと思っています。





門信徒の広場



えんまんじCafeについて



5月のえんまんじCafeは21日(日)の開催でした。21日は宗祖親鸞聖人の降誕会です。今年には御誕生850年立教開宗800年ということもあり、初めてビンゴ大会をして楽しい時間を過ごしました。6月7月は通常通りのえんまんじCafeで、ゆっくり過ごしていただきました。ハンドメイドの作品をお供え下さった方がおられます。皆さんに喜ばれています。いつも有り難うございます。年内は毎月9日に開催しますので写経や折り紙、ナンプレ等是非楽しみにいらして下さい。そして、9月はオカリナコンサートを予定しています。やさしい音色は癒されること間違いなし♪お友達と御一緒にどうですか??皆様のお越しをお待ちしております。どなたでもフラットお気軽にいらして下さいね(^)o(^) ホームページ・インスタグラムに写真等掲載しますので、気になる方はチェックしてみてください。

下記の方々がお浄土に往生されました。謹んでお念仏もうしあげます。

4・2	藪内 孝男 様	5・10	田中 愛子 様
4・10	山中 朝子 様	5・30	高橋 悦治 様
4・20	奥戸 清 様	7・1	芹川 イサ子 様



◆藪内さんの思い出◆

4月2日に往生された藪内さんは、物静かで生真面目な人だった。奥様が往生されてからは一人暮らし。腰の術後は足が少し不自由になられ、心臓にも病をかかえながらも拙寺法座には欠かさず参詣され熱心に法話を聴聞されていた。毎月2回の月忌参りの際は一緒に正信偈をおつとめされていた。奥様の御遺骨は仏壇の横に置き、「私が亡くなったら一緒に納骨してもらいます」と微笑みながらおっしゃっていたのを思い出す。きっとお二人は仲のよいご夫婦だったのでしょ。藪内さん、御一緒に納骨させてもらいますよ。お浄土で奥様と共に如来様のお手伝い。私たちに仏縁を、お念仏申す身にして下さり有り難うございます。 南無阿弥陀仏

院主携帯番号

090-5150-0946

(緊急時に)



ホームページ



Instagram

スマートフォン等のカメラより上記のQRコードを読み込んで下さい。InstagramではDMも送れます。



ほっとけまい(米)プロジェクト寄贈御礼



貧困に苦しむ子ども達を支援するため「こども食堂」への支援を目的としたほっとけまい(米)プロジェクトに多くの皆様からご賛同いただき、いつもお心を寄せて下さり有り難うございます。寄贈する様子等はホームページやInstagramに毎月掲載していますので、そちらも御覧下さいませ。

お米・レトルト食品・お菓子・ジュース・文房具や古着等も受け付けています。まだ厳しい状況が続いており、夏休みに入ると給食も無いので子ども達の健康が心配されます。どうぞご支援いただきますようお願い申し上げます。

◆野田村二十一人討死

證如上人御消息披露法要◆

コロナ禍により3年ぶりに御法中が内陣出勤して下さいました。證如上人の御消息を披露し、ご法話は小林顯英先生。

私たちが意識していなくてもどんな時でも阿弥陀さまはすべての生きとし生けるものに絶対に救うとはたらきかけて下さっているとお聞かせ下さいました。

法要の詳しい内容は是非ホームページを御覧下さいませ。



▼お墓参りの注意点▼



梅雨が明ける前から暑かったり陽射しが強かったりする日が多いですね。

皆さん、8月はお盆、9月はお彼岸でお墓にお参りされる方も多いかと思えます。お墓は日陰が無く民家等から離れた所にあることが多いです。熱中症になったら気づかれることもなく倒れていたということもありますので、お参りされる際は水分補給を忘れず、なるべく2人以上で、行き先を誰かに伝え、陽射しの強い日や時間帯を避けてお参り下さい。



写真コーナー



4月8日 えんまんじC a f e
～花まつり～



4月12日 おみがき



5月8日 野田村二十一人討死
證如上人御消息披露法要



5月10日 役員会



5月21日 えんまんじC a f e
～親鸞聖人降誕会～



6月9日 えんまんじC a f e



6月12日

「えんまん」研修旅行～真宗高田派本山 高田山 専修寺～



楽しいバスの中



添乗員さん運転手さん



7月9日 えんまんじC a f e